

【実践日時】 平成15年11月13日(木) 第1校時

【授業実践校、対象学年、組】 中学校 2年2組 在籍32名

【授業者】 久保えり子

【準備】「臓器提供意思表示カード」、「ああターちゃんは生きていた」、VTR(臓器提供者遺族の声)カード、ワークシート、アンケート結果 臓器移植絵本リーフ

(1) 本時のねらい

ガイダンス道徳からの流れ

自己の生き方を見つめる中で「死」は避けて通れない問題である。生徒は、これまでの授業の中で多くの人によって生かされてきたこと、努力を積み重ねて自分の道を切り拓くことの大切さを実感、共有し、「生」の中で「いのち」を生かしていくことの大切さを学んできた。しかし、現代の医療の進歩は、新たに「死」を「生」に生かすという「いのち」の捉え方を提示してきている。生徒にとって「死」は身近な問題ではないが、「死」を見つめることで生命の尊厳、尊さにより深く思いを寄せ、よりよい生き方を追究していくことは、生徒にとって自分だけでなく他者の「いのち」の重みも考えるよい機会となるであろう。

「いのち」の授業の観点から

いのちを軽視した犯罪の増加に、「生」に対する執着心が希薄になっている若者の姿を見ることができる。これは、受けついで「いのち」の重みをじっくりと考えるというような、自己の存在を認識する経験の少なさが原因と考える。そのため、自己の存在や他者の存在を「いのち」の視点から見直し、よりよい生き方の創造に向けて、自他の生命の尊厳、尊さを深く考えさせることが必要であると考え。

今回の授業は、「いのち」の尊さ・重みを実感するために「臓器提供意思表示カード」を取りあげた。臓器移植がどのようなものであるかを知り、臓器提供についての賛否を問う。臓器移植については、大人の間でも賛否両論の考え方があり、生徒の考え方も立場により「ゆらぎ」が予想される問題であるが、この「ゆらぎ」は「いのち」がかけがえのないものであり尊いものであるが故に生じるものなので、大切に扱いたい。さらに、臓器提供をした家族の声から、「いのち」を生かすことについて考えを深めたいと考える。

臓器移植」の授業の押さえはここ！

POINT 3

- 1 健康に毎日が過ごせることの有り難みを感じると共に、「いのち」を受け継ぐとは様々な思いも受け継いでいることに気づき、それに答えようとする心情を育てる
- 2 臓器提供問題を考えることで、かけがえのない自他の「いのち」を尊重していこうとする心情を高める
- 3 自他の「いのち」を大切にしたい生き方を追究しようとする態度を育てる

自分らしい生き方の創造と、その生き方を追究する姿勢を育てる

2 授業展開

	学習内容 (発問)	時間	指導上の留意点、予想される生徒の反応
導入	<p>1 今日の学習の課題を知る</p> <p>今日は臓器移植の問題を通して、「いのち」を生かすとはどういうことなのか、考えていきたいと思います。</p> <p>臓器移植の現状を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臓器移植しか助かる見込みのない患者の話 ・15歳の壁 ・海外移植に頼る日本の現状 ・臓器提供を受けて元気になった人の写真 <p>臓器提供意思表示カードの提示と説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臓器提供意思表示カードの提示 ・脳死あるいは心臓停止した死後に臓器を提供する場合 ・心臓が停止した死後のみ臓器を提供する場合 ・臓器の提供をしたくない場合 	10	<p>臓器移植の希望者・ドナーの現状についてのグラフを提示</p> <p>臓器提供意思表示カードの実物と説明用に拡大したものと絵本リーフを準備</p> <p>カードの内容を確認しながら、臓器提供は本人の意志が尊重されること、カードはその意思表示のために作られたことを確認する。</p>
	<p>2 臓器提供について考える</p> <p>臓器移植の現状で説明したように、移植でしか助かる見込みがない重い病気にかかり、迫る「死」と闘いながら移植に希望をつないでいる人がいることも考えて、これから話し合いをしていきたいと思います。</p> <p>みんなが不幸にも脳死となってしまったら、家の人みんなの臓器の提供についてどうしたいと言っていましたか。</p> <p>< 補助発問 ></p> <p>臓器の提供はしたくない・しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家的人是、何故臓器を提供できないと言っていましたか。 ・提供できないと言った親の気持ちを聞いて、みんなはどのように感じましたか。 <p>提供するか</p>	20	<p>病気の克服が、臓器移植しかない病気にかかって苦しむ人の存在を再度押さえておくことで、単純な感情論で話し合うのではなく、人としての生き方を考えていくのだという方向性を持たせる。</p> <p>親と臓器移植について話し合ってきた生徒が少ない場合の補助発問</p> <p>もしみんなが脳死となった時、両親から臓器提供をしたいと言われたらどのように思いますか。</p> <p>- 【予想される反応】 - - - - -</p> <p>拒否反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の人を可哀想だと思っても他人事なんだと思 ・患者が可哀想ではないのか ・自分の子どもの遺体がいじられて嫌ではないのか、自分がかわいくないのかと思う。 ・死んでしまったらどうなってもいいのかと親が信じられなくなるかも。 ・親子の絆が切れる ・親の考えが信じられない <p>受容</p>

- ・提供する理由をどのように説明してくれましたか。
- ・親の提供についての説明を聞いて、その考えをどのように感じましたか。

自分の家族が臓器移植が必要な状態になったときに移植を希望する人は赤のカード、移植を希望しない人は青のカードを出して下さい。

次に、自分の家族が脳死状態になったら、臓器の提供を承諾しますか、拒否しますか。
 家族の臓器の提供を承諾する人は黄色の付箋紙を、拒否する人はピンクの付箋紙を、先ほど出したカードの上に貼ってその理由をワークシートに書きましよう。

自己決定

臓器移植が抱える問題に気付く

では、家族が臓器移植を必要となったときに下した判断と、提供者となったときの判断についての考えをワークシートに書きましよう。

< 補助発問 >

- ・臓器移植を家族には希望しながら、提供をしたくないのは何故か。
- ・臓器移植を拒否する人が多い中で、承諾できるのはどのように考えたからか。
- ・臓器移植を受け容れられないのは何故か。
- ・自分の家族の臓器を取り出すことに抵抗はないのか。
- ・臓器移植について自分が下した二つの判断を、家族という立場を離れて客観的に聞いたときにどのように考えるか。

意見交換

- ・自分を大切に思ってくれているからできないのだと思う
- ・自分の死を無駄にしないためだと思って納得する
- ・何故提供を決めたのか、納得できれば仕方ないと思う。
- ・死んだら何も残らないのだから、親の判断でいいと思う。

予想として、大半が赤のカードを出すと思われる。ここではその理由は問わない。

家族には臓器移植を受けさせたいと考えるが、家族が提供者となるのは受け容れがたいとする矛盾を考えると、臓器移植の抱える問題に気付かせる。

【予想される反応】

臓器提供する理由

- ・本人が望むのであれば意志を尊重しなければならないと思うから。でも、体をそのままにしておきたいという気持ちなので、心から納得してではない。
- ・そのまま死ぬより一人の人が助かればいいから。
- ・脳死は嫌だが、心臓停止の後なら提供してもいいと思うかもしれない。
- ・そっとしておいてほしいから。
- ・早く承諾できるかは分からないけれど、他の人も困っていて、自分の家族で役に立ってくれるなら

臓器提供しない理由

- ・死んでも家族だから、遺体を傷つけたくない
- ・臓器移植自体に賛成ではないから

【予想される反応】

臓器移植は受けたいが、提供は嫌

- ・客観的に自分のような考え方で行動する人を見たら自分勝手な人間だと批判するかもしれないが、やはり家族の遺体から例え死んだといっても臓器を取り出すことは納得できない。

臓器移植も受けたいし、提供もする

- ・臓器移植によって生きられるなら、死を無駄にしないで生かす方向を選びたい。悩むと思うが生きている人を優先させることが大切

臓器移植は受けないが提供はする

- ・本人が移植を拒否するなら自分としては希望したいが本人の意志に任せる。提供は他人の役に立つことだしそうすることで死を生かせると思う

臓器移植もしないし、提供もしない

- ・臓器移植を希望するなら提供もするのが当然で、提供できないなら、移植も希望すべきではない。
- ・いのちは運命で決められているのだから、人の臓器をもらってまで生きる必要はない。

<p>3 臓器移植に関する問題から、「いのち」の尊厳について考える 15</p> <p>移植を希望する患者の家族とドナーとなることを決断する家族に共通する思いは何でしょう。</p> <p>< 補助発問 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植を希望する患者の家族は、どのような願いから、他人の臓器の提供を待っているのでしょうか。 ・ドナーとなった人の遺族も、葛藤の中で決断を下している。遺族は、ドナーとして提供する先に何を求めているのだろう。 <p>臓器移植は確かに人の命を救う一つの医療行為です。でも、人の「いのち」を救うのだからといって割り切れない思いがあるのも事実です。これから読むのは、ドナーとなった家族の話です。</p>	<p>患者の家族は他人の「死」を期待しているわけではなく、生かされることを押さえる。臓器とともに思いも一緒に提供されている。どこかで肉親の一部が生かされることで、死んで何もなくなってしまおうのではなく、生きていたい。</p> <p>【引き出したい考え】</p> <p>移植を希望する家族は、わずかな希望に望みを託して生きるチャンスを与えてあげたいという思いがあり、ドナーとなった家族はせっかく誕生した命を何とかつなげていけなかつたの思いから提供の道に踏み切るのでと思う。共に、大切な「いのち」を生かしたいという思いで共通している</p> <p>「ああターちゃんは生きていた」</p> <p>我が子の臓器提供の決断を後悔する日々の中で、15年後に移植者からの連絡を受け、自分の決断を受け入れられるようになった夫婦の葛藤と受け止め方を抜粋して読む</p> <p>VTR・・・臓器移植シンポジウムでの遺族の声</p> <p>世の中のためになりたいとか、誰かの命を助けたいというよりは、誰かに受け止めてもらいたい、一緒に生きてほしいというのが第一だった。</p>	<p>何ものも</p> <p>思い</p>
<p>5 まとめ</p> <p>臓器移植について知ることを第一歩として、移植を希望する家族、ドナーとなった遺族のそれぞれの家族の思いにも触れてきました。</p> <p>今日の道徳の時間を振り返り、いのちの大切さをどのように受け止めましたか。また、今の自分の「いのち」を生かすとはどうしていくことだと考えますか。自分の考えをまとめてみましょう。</p> <p>心のノート（77頁）を読む</p>	<p>5</p> <p>【生徒に書かせたい思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで自分や家族のいのちの大切さなんて考えたことはなかった。今日、臓器移植という問題を通して、「いのち」を生かすとはどういうことなのかと考えた。家族の「死」を他で生かすなんていう考えを受け容れることは、今の自分にはできそうもないが、私たちの尊い「いのち」を見つめるきっかけとなった。一生を通しての大きな生き方を問われた気がした。「いのち」はかけがえがなく尊いということが、「死」を考えることで実感できた。健康である毎日の生活を、部活動でも勉強でも悔いのないように送っていくことが「いのち」を大切にすることにつながるとし、1日を大切にしていきたいと考えた。 <p>評価の観点</p> <p>臓器提供を通して、自他の「いのち」の尊さを考え、自分なりの考えを持つことができたか。</p>	<p>自</p>

「臓器移植」ワークシート

H15.11.13(木)

2年 組 番 氏名 _____

「いのち」を生きかすとはどうことだろう

- 臓器移植の現状から学ぶ -



臓器移植、臓器提供について、その決断の理由は？

自分の立場	臓器移植を	希望する	希望しない	(を付けましょう)
	臓器提供を	承諾する	拒否する	

移植を希望する家族、臓器を提供する家族に共通する思いは？

今日の道徳を振り返り、「いのち」の大切さをどのように感じたでしょうか。また、今の自分の「いのち」を生かすとはどうしていくことだと考えましたか。

A large rectangular area with a dashed border and horizontal dashed lines inside, intended for writing a response to the question above.

